

令和6年度 青葉地区

幼保小教育交流事業活動報告

小学校への接続に向けて
豊かな学びと育ちをつなぐ
幼保小の顔の見える交流事業を目指して

青葉地区実行委員会

青葉区

○交流対象	幼稚園	19園
	保育園	64園
	認定こども園	2園
	小学校	30校

○幼稚園19園 保育園64園 認定こども園2園

小学校30校が3つのブロックに分かれ児童・園児の交流活動や職員の交流活動を通して子どものスムーズな接続を支援します。

○小学校を中心とした交流事業が盛んに行われ、複数園とかかわる小学校や複数小学校とかかわる幼稚園などがあります。



実行委員会開催

- 年間計画・予算案立案
- 子育て講演会の企画運営
- 研修会等の計画
- ブロック別交流会の企画運営
- 公開保育・授業公開の周知
- 事業の反省とまとめ
- 次年度への引継ぎ

年2回実施
(第1・2回 開催)

総会・全体交流会

○第1回 書面開催

- ・今年度の事業計画確認 実行委員紹介
- ・参加幼稚園、保育園、小学校確認
- ・公開幼稚園保育園の確認
- ・幼保小交流事業全市的な取組について

○第2回 開催

- ・ブロック交流事業報告
- ・推進地区事業報告
- ・今年度の成果と課題

幼保小教育交流事業

健やか子育て講演会

令和6年12月9日（月）15時30分より

講師 五感教育研究所

室長 高橋 良寿 氏

参加者 区内小学校・幼稚園・保育園・行政・保護者
31名

ブロック別推進委員会事業 Aブロック

【第1回】7月23日(火)

- ブロック長・役員紹介
- 今後の交流会や公開保育・公開授業について
- ブロックごとの交流の確認

【第2回】1月20日(月)

- 公開保育・公開授業の報告
- 来年度の交流事業について
- 幼保小連携トーク(スタートカリ作成に向けて等)

【公開保育】

アートチャイルドケアろりぽっぷたまプラーザ

【公開授業】

①11月20日(水)

あざみ野第一小・新石川小・元石川小

美しが丘西小・黒須田小

② 1月22日(水)

あざみ野第二小・荇子田小

【黒須田小学校とあざみ野白百合幼稚園の交流】

2月3日に来校(9:30~11:00)

- ①交流開始のセレモニー
- ②学校たんけん(園児1人につき、児童5人程度がついてスタンプラリー)
- ③教室で交流(教科書を見せる、ランドセルを背負う、GIGA端末操作など)
- ④交流終了のセレモニー・見送り



ブロック別推進委員会事業 Bブロック

○市ヶ尾小学校

→交流園 市ヶ尾幼稚園・荏田保育園・荏田北保育園

スターチャイルド荏田北ナーサリー

グローバルキッズ市が尾園

ベネッセ市ヶ尾駅前保育園

11月下旬 秋まつり

2月下旬 学校案内、学校クイズ、
教科書・ランドセル体験など



ブロック別推進委員会事業 Cブロック

○榎が丘小学校

→交流園 青葉台幼稚園・ベネッセ青葉台保育園・あつぷるキッズ保育園
エンゼルベア保育園・オルタスそらいる保育園・ナザレ保育園

令和7年1月15日(水)10:30～11:30

令和7年1月20日(月)10:30～11:30

交流内容 学校探検 折り紙遊び、読み聞かせ、
手遊びなど



推進地区事業報告

みたけ台小学校

1 推進テーマ 接続期幼保小架け橋プログラムの推進～はじめの一步～

2 推進テーマ設定の理由

・本校では、スタートカリキュラムなどを行っているが、職員の中で「1年生の担当が取り組むもの」という思いが強かった。改めて、学校全体で接続期『幼保小架け橋プログラム』に取り組みたい。

・生活科や総合的な学習の時間に関連させ、子ども自らが学びの主体となり、「自立する学習者」を育てる探求的な学びをつくる授業づくりや授業改善につなげたい。

3 推進内容

- ・全職員が『幼保小架け橋プログラム』の取組に参画すること
- ・本校のスタートカリキュラムを構築すること
- ・園との交流を復活させ、内容の改善を図ること
- ・幼児・児童の交流活動に関すること
- ・教職員の連携に関すること

4 今年度の重点課題 ～今年度力を入れたこと～

三つの園と本事業へ理解を共有すると共に、幼保小連携推進委員会を立ち上げて、各園と3年間の方向性を話し合ったこと

5 交流園・学校

学校法人宮田学園 三陽幼稚園・三陽保育園

学校法人原田学園 みたけ台幼稚園

社会福祉法人祥泉福祉会 りんどう保育園

横浜市立みたけ台小学校



6 今年度の取組

- ・幼児・児童の交流活動に関すること
- ・教職員の連携に関すること

7 今後の交流について

- ・交流活動を増やすこと
(できれば年2回)
- ・小学校への授業参観(運動会含む)
- ・職員同士の研修(夏)や、子どもどうしの交流も取り入れていく。



推進地区事業報告

新石川小学校・美しい森幼稚園

活動の概要

- ・ 第1回推進委員会(4月4日) 顔合わせ、活動計画・内容の確認
- ・ 小学校授業交流(4月17日、26日) 幼稚園の先生が小学校へ来て授業(読み聞かせ、体育館遊び)
- ・ 第1回交流会(5月14日美しい森幼稚園へ) 幼稚園でフィールドビンゴ
- ・ 小学校授業参観(5月24日) 小学校の授業を幼稚園の先生が参観
- ・ 保育参観(7月25日) 幼稚園の保育を小学校の先生が参観、あきまつり会の交流に向けての確認
- ・ 第2回推進委員会(7月25日) 1年生の学びや育ちを共有
- ・ 第2回交流会(12月3日) 新石川小学校へ「あきまつり会へようこそ」
- ・ 第3回交流会(1月16日) 「しょうがっこうは たのしいよ まってるねの会」
- ・ 小学校授業見学(2月) 小学校の授業の様子、個別支援級の学びや育ちの共有
- ・ 第3回推進委員会(2月17日) 今年度のふりかえり、次年度へ向けて

推進委員会

4月4日、7月25日、2月下旬予定の3回の推進委員会を開催
会の初めには「好きな食べ物」などテーマトークをして親睦を深めました。

- ・幼保小連携推進地区事業が3年目になり、できることを話し合い、計画的に行いたい。
- ・まずは、小学校に慣れて、たくさん交流ができそう。
- ・美しい森幼稚園は、大きな敷地や森を生かした教育をしている。
- ・様々な園から小学校入学したときの変化は大きいから、接続期はとても大切。
- ・幼保と小をつなぐスタートカリやアプローチカリについて考えていく必要がある。7月15日育ちを共有し話し合いました。



育ちを共有しました

成果と課題

《成果》

○小学校と幼稚園保育園との交流がそれぞれのブロック内や小学校を中心に活発に行われるようになってきている。小学生にとっては相手意識をもって準備を進める中で学習を充実させることができ、園児にとっても就学への不安を期待に変えることができる機会となっている。

○ブロックごとに教師や保育士の交流を持つ機会を作り、互いの理解を深めることができた。それぞれ近くの学校、園とこれまでどんな交流をしてきたかを情報交換したり、日頃の教育、保育について子ども観についてなど、思いを共有することができた。

成果と課題

《課題》

●小学校と園との交流ができているところはよいが、青葉区は園の数が多かったり、学校との距離の問題があったりして希望通りの交流ができないところがある。学校側も時間の枠の問題もあり、交流の回数には限りがある。

●連絡手段としてメールアドレスの収集を試みたが、青葉区内全園の分を集めることができなかった。そのため、郵送やファックスも多用したが費用もかかることや、スピーディーな連絡のためにも今後はメールでのやりとりができるとうよいと思う。